

JIS

ふっ化水素酸用ほたる石分析方法—
第2部 ふっ素含有量の定量—
蒸留後電位差滴定法

JIS K 1468-2 : 1999

平成11年4月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。

今回の制定は、日本工業規格を国際規格に整合させるためにISO 5439 : 1978を基礎として用いた。

主務大臣：通商産業大臣 制定：平成 11.4.20

官報公示：平成 11.4.20

原案作成協力者：日本無機薬品協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学部会（部会長 三田 達）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1丁目 3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

ふっ化水素酸用ほたる石分析方法— K 1468-2 : 1999

第2部 ふっ素含有量の定量—蒸留後電位差滴定法

Acid-grade fluorspar—Method for chemical analysis

Part 2 : Determination of available fluorine content—Potentiometric method after distillation

序文 この規格は、1978年に発行された、ISO 5439, Acid-grade fluorspar—Determination of available fluorine content—Potentiometric method after distillationを基礎として作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、ふっ化水素酸用ほたる石のふっ素含有量を、蒸留後イオン電極を用いる電位差滴定法によって定量する方法について規定する。

この方法はふっ化カルシウム (CaF₂) 含有量90 %以上の製品に適用する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 5439:1978 Acid-grade fluorspar—Determination of available fluorine content—Potentiometric method after distillation

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この引用規格のうちで、発効年(又は発行年)を付記してあるものは、記載の年の版だけが規格の規定を構成するものであって、その後の改正・追補は適用しない。発効年(又は発行年)を付記していない引用規格は、その最新版(追補を含む)を適用する。

JIS K 0113 電位差・電流・電量・カールフィッシャー滴定方法通則

JIS K 0122 イオン電極測定方法通則

JIS K 8001 試薬試験方法通則

JIS K 8005 容量分析用標準物質

JIS K 8101 エタノール(99.5)(試薬)

JIS K 8102 エタノール(95)(試薬)

JIS K 8223 過塩素酸(試薬)

JIS K 8247 過マンガン酸カリウム(試薬)

JIS K 8576 水酸化ナトリウム(試薬)

JIS K 8777 ピリジン(試薬)

JIS K 8799 フェノールフタレイン(試薬)

JIS K 8839 2-プロパノール(試薬)

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

JIS Z 8801 試験用ふるい

備考 ISO 565:1990, Test sieves—Metal wire cloth, perforated metal plate and electroformed sheet—Nominal sizes of openingsが、この規格と一致している。

JIS Z 8805 pH測定用ガラス電極